

資 料 編

釧路市消防の沿革

年 月	事 項
明治 20年	釧路の街の繁栄著しく消防機関の設置が痛感され、真砂町西川幸右エ門ら有志相図り配下の人夫で1隊を組織、装備は纏1本、竜吐水1台
23年 9月	時の郡長宮本千万樹有志を説き消防組を設立、これが釧路消防組の始まりである。初代組頭原田幸吉氏、組員61名小型腕用ポンプ1台、器具置場入舟町11番地
25年 6月	2代目組頭 中西 鉄五郎氏
27年	組員20名を増して2部制とし、米町に第2器具置場を新設
31年 3月	公設消防組に改組、定員181組に増員、3部制とし、頓化に第3部新設、腕用ポンプ2台購入
33年	釧路町制が施行されて、はじめて消防費の計上をみた
34年11月	州崎町大火660戸全焼、死者3名、第1部番屋焼失
35年	州崎町に第1部番屋再建
37年10月	3代目組頭 大井 留八氏就任
43年 7月	4代目組頭 古瀬 恒次郎氏就任
44年10月	4部制となる。幣舞橋際に第4部新設、組員定員201人となる
大正 2年12月	橋北の大火 286戸全焼、ガソリンポンプ購入の議、起こる
3年	ガソリンポンプ購入、本道におけるガソリンポンプの始まりと伝えられる
3年10月	州崎町34番地に第5部新設、5部制とする
4年 3月	茂尻矢5番地に番屋新築し、第4部幣舞橋から移転する。第1部は州崎町から幣舞橋詰に移った。
4年10月	真砂町43番地に第2部新築移転
7年	西幣舞繁華街から出火86戸全焼 大正4年から毎年1台のガソリンポンプ購入、第1、3、2、4部に順次配置、防火陣容を整えた。
8年 1月	西幣舞9番地から出火、298戸全焼、死者1名、破壊消防隊設置の議、起こる
8年 6月	西幣舞35番地第6部新設、破壊消防隊編成
8年10月	組員から14名の夜間常備員選抜夜警開始 5代目組頭、岡田 伊之助氏就任
11年	ポンプ自動車2台購入、第1部に配置
11年11月	真砂町時枝病院から出火146戸全焼、ポンプ自動車1台焼失
11年12月	7部制に改め浦見町4番地に第7部新設、定員211名、常備員18名昼間常備制となる
12年	ポンプ自動車1台購入、第1部配置
12年 1月	西幣舞68番地より出火141戸全焼
12年 8月	第2部部長、田畠 忠太郎氏等の奔走より消防殉難碑を建立する

年 月	事 項
大正 12年 8月	鳥取消防組設立する（後の第9分団）初代組頭 堀 稍平氏
14年 2月	西幣舞100番地より出火118戸全焼
15年	ポンプ自動車1台購入、第2部配置貯水池3ヶ所新設
昭和 元年	西幣舞105番地より出火121戸全焼
2年	春採消防組発足（後の太平洋消防団）
4年	消防本部庁舎新築
5年	上水道消火栓通水、各部にポンプ自動車配置完了爾来大火災は全く見られなくなった
7年 9月	6代目組頭 原 長蔵氏就任
8年 5月	7代目組頭 根津 文治氏就任
10年	Vフォード市原式ポンプ自動車6台購入
11年 8月	浦見町2丁目3番地に7部を設置
14年 4月	警防団に改組、初代団長 根津文治氏
15年	潜行照明自動車購入
17年 2月	釧路市会、警防団組織の改組、定員の変更を可決、団に常備消防本部を置き、本部長以下44名を配置有給とし、各部は部長以下30名となる 本部長 多田 和助氏就任
18年	空襲火災に備えて市内79ヶ所に貯水池槽造成
18年 6月	北大通1の1元職業指導所を買収、本部を拡張
19年 2月	第2代団長 長内 丑右エ門氏就任
19年 7月	本部団相互間の通信連絡用警察専用電話新設開通 北大通10丁目に6分団設置、旧6分団を7分団と改称
20年 7月	空襲に備えて弟子屈町などよりポンプ自動車2台の応援を得た 14日大空襲、133戸焼失、倒壊1,485棟、死者177名、傷者143名、団員の敢闘はめざましいものがあった 第7分団庁舎焼失
20年11月	第3分団、富士見町1番地へ移転
22年 2月	第3代団長 馬場 佐治氏、公選によって就任 消防団設置条例制定、消防団に改組、初代団長 馬場佐治氏、定員常備44名、非常備254名、太平洋消防団発足、ニッサンポンプ自動車2台購入
23年 1月	川上町6丁目に第7分団新設
23年10月	桂恋特設班新設 定員14名
23年12月	大楽毛特設班新設 定員14名
24年10月	鳥取町を併合、鳥取消防団をも併合、第8、9分団となる、ニッサンタンク車購入

年 月	事 項
昭和 25年 3月	釧路市消防団条例改正
25年 4月	消防本部設置条例制定、釧路市消防本部（庶務、消防2課）及び消防署発足、本部（署）定員68名 初代消防長 馬場 佐治氏団長兼任、初代署長 多田 和助氏就任
25年 9月	隠弥平特設班新設、腕用ポンプ1台、定員10名、イスズタンク自動車購入
25年10月	寿町64番地に第5分団庁舎新築移転 栄町12丁目に第6分団庁舎新築移転
27年 6月	大楽毛特設班にガソリンポンプ配置 釧路市消友会音楽部発足
27年11月	団機構改革、太平洋消防団を廃し釧路市消防団に併合第10分団と改称（太平洋消防団車配置）、団定員384名
28年 9月	春採250番地に第10分団庁舎新築落成、ニッサンポンプ自動車購入
30年 1月	第2代消防長 多田 和助氏就任、署長兼務
30年 6月	日本損害保険協会よりニッサンタンク車1台寄贈を受ける、トヨタポンプ自動車購入
30年12月	第2代団長 大石 良一氏就任、第2代署長 石川 晶英氏 就任
30年	本部（署）89名、車両7台、団員384名、車両10台、可搬式2台
31年 8月	桜ヶ岡24番地に第11分団開設 鳥取町9番地8分団庁舎に鳥取出張所併設
31年10月	トヨタポンプ車購入
31年12月	第2代消防長 多田 和助氏 退任 第3代消防長 大滝 直平氏 就任 第3代団長 浅川 正敏氏 就任
31年	釧路市消防機関設置条例制定
32年 5月	予防査察受持管区制度確立
32年	釧路市消防団員等公務災害補償条例制定。職員106名に増員、車両8台、団11台
32年11月	イスズタンク車購入、ニッサンポンプ自動車購入
32年12月	共栄大通5丁目旧警察庁舎を買収改築、鳥取出張所、第8分団を移転
33年 7月	第7分団庁舎改築
33年12月	イスズポンプ自動車購入
33年	本部（署）119名に増員、署可搬式4台に増強
34年12月	富士見町29番地の旧国鉄寮を買収改築、富士見出張所を開設2台配置、第3分団を移転併置、イスズタンク車購入

年 月	事 項
昭和 34年12月	本部消防課を警防課と予防課に分離本部3課となる
34年	本部（署）126名、車両9台に増強、団可搬式3台に増強
35年 1月	新年観閲式挙行釧路市消防最後の登梯式を市民に披露
35年 5月	釧路市危険物の規則改定
35年12月	イズポンプ自動車購入
35年	本部（署）133名に増員
36年 3月	全市建物平面図台帳完成
36年 4月	釧路市消防署音楽隊が編成される
36年 5月	釧路信用金庫よりタンク車1台寄贈を受ける
36年10月	昭和34年から3ヶ年計画で施設した火災報知機284基完成 第1回法定防火管理者講習会実施496名の管理者誕生 城山町16番地に第4分団庁舎新築移転
36年11月	イズTW6輪車タンク購入
36年	本部（署）148名、車両10台、可搬式7台に増強
37年 6月	釧路市火災予防条例全面改正
37年 8月	イズタンク車購入
37年 9月	査察制度の大改革実施、当務中の査察に切替え
37年11月	イズポンプ自動車購入
37年12月	市内篤志家6社長（大滝、金井、宮地、渡部、渋谷、浜木の各氏）よりポンプ車6台の寄贈を受ける（各1台宛） 大楽毛特設部器具置場改築、ポンプ車1台配置 南大通6丁目旧拓銀を買収改築第1分団移転
38年 3月	7級都市より5級都市昇級決定
38年 4月	大楽毛特設部を分団に昇格、第12分団と称す
38年 8月	第3代消防長 大滝 直平氏 退任 第4代消防長 石川 晶英氏 就任 太平洋炭鉱よりポンプ車1台の寄贈を受ける
38年10月	釧路市危険物安全協会設立、事務局を本部予防課内に置く
38年11月	山花特設部桜田班に可搬式動力ポンプ配置
38年12月	大楽毛85の1に第12分団庁舎新築移転
39年 7月	救急業務開始
39年 9月	釧路市消防開設75周年を祝し、市厚生年金体育館に於いて記念式典を盛大に挙行 参列者1,200名

年 月	事 項
昭和 39年 9月	日本損害保険協会よりポンプ車1台の寄贈を受ける
39年11月	釧路市第1回防災訓練実施
40年 3月	激増する危険物火災に対処して化学消防車1台（市費1,000千円、寄贈5,500千円）購入
40年 4月	消防職員5名増員、172名となる
40年10月	市費にてポンプ車1台購入 消防職員の永年の懸案であった消防本部・署庁舎落成、鉄筋コンクリート2階建望楼41mエレベーター付、延面積1,574.6㎡、総工費60,727,000円 釧路市防火管理者連絡協議会設立、事務局を消防本部予防課内に置く
40年11月	第8分団消防車購入期成会（会長 小沢幸七氏）よりポンプ車1台（第8分団車）の寄贈を受ける 浜 理作氏より望楼サイレン音響装置一式寄贈を受ける（1,650千円）
40年12月	鳥取36番地の3に第9分団庁舎新築落成式を挙行
41年 5月	住友生命(株)より救急車1台の寄贈を受ける
41年 7月	釧路市消防団員等公務災害補償条例全面改正
41年10月	火災報知機11基の増設を行い現有295基となる
41年11月	道東いすず(株)より予防車1台の寄贈を受ける
41年12月	屈折式梯子自動車購入（市費890万円）
42年 3月	竹川 秀雄氏(東洋不動産(株)社長)より水槽付消防自動車1台（300万円）の寄贈を受け竹川号と命名、鳥取出張所に配置する
42年 4月	元消防士長 浜市 徳男氏（勲6等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く
42年 9月	北海道防災総合演習を釧路市において実施（参加人員2,000人余）
42年10月	火災報知機11基の増設を行い現有306基となる
43年 3月	釧路市消防機関設置条例を廃し、釧路市消防本部及び消防署設置条例を制定する 釧路市消防団条例全面改正 第4代消防長 石川 晶英氏退任
43年 4月	第5代消防長 松田 秀夫氏就任
43年 5月	第7分団消防車購入期成会（会長 登坂菊松氏）よりポンプ車1台の寄贈を受け旭光号と命名、第7分団に配置する 元消防司令 遠藤 義篤氏（勲6等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く
43年 6月	釧路振興公社（社長 野坂作五郎氏）より消防自動車（先攻車）購入資金として500万円の寄贈を受ける
43年 9月	火災報知機9基の増設を行い、現有315基となる
43年11月	釧路市消防団、北海道知事より優良消防団表彰の栄に輝く

年 月	事 項
昭和 43年12月	桜ヶ岡24番地に桜ヶ岡出張所、第11分団合同庁舎新築する 釧路市消防団規則全面改正 消防団北斗特設部及び桜田特設部新設する 消防水利施設21基増設し現有739基となる
44年 4月	釧路市消防本部組織規則を全面改正制定する
44年 6月	日本消防協会の資金協力により予防広報車1台予防課に配置する
44年 9月	消防殉難碑、鶴ヶ岱公園に移築再建する（工費272万円）
44年11月	火災報知機5基増設、320基となる 第4分団消防車購入期成会（会長 管野 仁氏）よりポンプ自動車1台（もしりや号）及び消防第4分団庁舎の改増築の現物寄贈を受ける（ただし消防自動車には市費100万円支出） 両角克治氏より救急車1台の寄贈を受ける 消防水利41ヶ所増設780基となる
44年12月	分団長・助光 正蔵氏（勲7等青色桐葉章）生存者叙勲の栄に輝く 消防署機構改革、係制に改める 消防署規則規程の全面改正 釧路振興公社よりポンプ自動車1台の寄贈を受ける 城山消防職員住宅完成（鉄筋コンクリート3階建12世帯） 梯子自動車購入、本署に配置する
45年 2月	クロスバー自動交換機及び一斉指令機を更新した
45年 5月	元消防士長 三木 峰市氏（勲7等青色桐葉章）生存者叙勲の栄に輝く
45年 9月	火災報知機5基（新富士地区）の増設を行い、現有325基となる
45年12月	第9分団に消防ポンプ自動車更新（市費350万円、特殊架装一式120万円を消防後援会第9分会より寄贈を受ける） 第12分団に消防ポンプ自動車更新（市費150万円、薄 薫氏より100万円、木村恒子氏より100万円寄贈を受け総額350万円） 消防水利21ヶ所増設849基となる ライフゼム6型、10基購入、署所に配置する
46年 3月	消防庁長官より優良消防機関として表彰旗受賞の栄に輝く
46年 5月	消防庁長官表彰旗受賞記念祝賀会を厚生年金体育館において開催 元消防司令補 鈴木 鉄次氏（勲7等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く 釧路市消防職員研修所（旧新釧路駅）を開所し、職員153名の研修を行う
46年 7月	釧路市消防署新橋出張所庁舎移転新築落成（新橋大通3の1の6）

年 月	事 項
昭和 46年 7月	釧路市消防団第8分団庁舎移転新築落成（新栄町10の6）
46年11月	釧路市消防団第5分団庁舎移転新築落成（寿町1の1の8）
	道東消火栓標識（株）より、消防水利標識（消火栓、防火水槽150本）の寄贈を受ける
46年12月	空気呼吸器集合装置一式（47分団入りポンペ10本）ほくさん釧路営業所に設置する
	釧路市西消防署新築落成、釧路市中央消防署との2署体制とする
	釧路市消防本部及び消防署設置条例の一部改正
	現有勢力は1本部2署3出張所12ヶ分団4特設部（消防職員208名、消防団員327名）となる
	釧路市消防署自家整備工場が釧路市整備工場と統合し合理化をはかり作業能率の向上を図った
	釧路市西消防署の開設に伴い、救急車を配置し、2台運用となる
	消防水利49ヶ所（開発行為による水利を含む）増設し、945基となる
47年 5月	元釧路市消防長 石川 晶英氏（勲4等瑞宝章）、釧路市消防団副団長 中山 久治氏（勲6等単光旭日章）生存者叙勲の栄に輝く
47年 8月	通信工作車1台購入、警防課へ配置する
	釧路振興公社より消防タンク自動車1台寄贈を受け、中央署に配置する
47年 9月	(財)日本損害保険協会より消防タンク自動車（化学車）1台寄贈を受け、富士見出張所に配置する
47年10月	消防無線電話機5台を更新した
47年11月	放水砲1台200万円で購入、中央署に配置、危険物及び大規模建築物火災に対する消防力の強化をはかる
	富士見出張所に温風暖房機を購入、蒸気ボイラーを廃止した
47年12月	釧路市消防団第2分団庁舎移転新築落成（浦見7丁目3番2号）
	消防水利44ヶ所（開発行為による水利を含む）増設し981基となる
48年 2月	網走信用金庫よりチェンソー3台の寄贈を受ける
	釧路日産自動車株式会社より乗用車1台寄贈を受ける
48年 3月	第5代消防長 松田 秀夫氏 退任
48年 4月	第6代消防長 野原 浩嗣氏 就任
48年 5月	(株)三ツ輪商会外6法人、1個人より救急車1台の寄贈を受け、中央消防署に配置する
	東部興業(株)・中央消火器販売・釧路市消防後援会より音楽隊制服の寄贈を受ける
48年 6月	元釧路市消防職員、佐々木 浅樹氏（勲5等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
	元釧路市消防団第9分団長、藤村 勝一氏（勲6等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く

年 月	事 項
昭和 48年 7月	<p>釧路トヨペット株式会社より救急車1台の寄贈を受け、西消防署に配置する</p> <p>釧路市消防音楽隊に名称を改称する</p> <p>釧路市消防音楽隊育成のため釧路市消防音楽隊後援会発足</p>
48年 9月	釧路建設業協会より消防職員訓練のための施設として消防訓練塔の寄贈を受ける
48年11月	(株)協栄信興・釧路総業(株)より指揮広報車2台の寄贈を受ける
48年12月	<p>釧路市消防団第1分団新築落成(南大通6丁目1番8号)</p> <p>釧路市消防団第1分団庁舎新築にあたり地域有志より備品購入資金等の寄贈を受ける</p> <p>川北消防職員待機宿舎完成(鉄筋コンクリート3階12世帯)</p>
49年 1月	釧路市地区防災センター構想に基づき各分団に地区防災センターを設置して、業務を開始、火災予防、災害対策の確立をはかる
49年 3月	公費により消防タンク自動車1台を購入、桜ヶ岡出張所に配置する
49年 4月	新規採用職員13名を対象に当市で初めて2ヶ月間の初任教育を実施し、第1期生を送り出す
49年 5月	<p>「市民総ぐるみ防火パレード」を実施し防火体制の確立をはかる</p> <p>釧路橋南地区水産加工工業協同組合より消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け中央消防署に配置する</p>
49年 8月	<p>釧路市農業協同組合より消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け消防団第8分団に配置する(共栄牧野号)</p> <p>釧路市中央消防署に特別救助隊(16名)を発足させ、救助体制の万全を期す</p>
49年 9月	釧路市危険物施設等防災対策協議会設立(82事業所)
49年10月	公費により消防タンク自動車1台を購入し、武佐出張所に配置する
49年11月	<p>釧路市中央消防署武佐出張所並びに、消防団第10分団庁舎落成</p> <p>国誉土地株式会社より消防タンク自動車1台の寄贈を受け、西消防署に配置する</p> <p>釧路市消防本部組織規則及び釧路市消防署組織規程を改正</p> <p>本部にあっては庶務課を総務課、警防課教養係を廃止、訓練所を新設</p> <p>消防署にあっては救助係を新設、消防車2台配置、出張所を支署に改める</p> <p>現有勢力は1本部、2署、2支署、2出張所、12ヶ分団、4特設部となる</p>
50年 3月	山一地所(株)より戦闘指揮車の寄贈を受け、本部に配置する
50年 4月	<p>釧路日産自動車株式会社より小型ポンプ積載車の寄贈を受け、山花特設部に配置する</p> <p>元釧路市消防職員 酒井 八十吉氏(勲7等瑞宝章)叙勲の栄に輝く</p>
50年 5月	原口産業(株)より消防ポンプ車2台の寄贈を受け、西署、大楽毛出張所置する

年 月	事 項
昭和 50年 6月	消防技術審議委員会設置、危険物施設及び防火対象物等の安全に関する技術上の問題について対処
50年 9月	東京都平和島公園で開かれた第4回全国消防救助技術大会に初めて参加、3チーム全員入賞を果たす
50年11月	釧路ロータリークラブより救急車の寄贈を受け、中央署に配置する 第2、第5、第6、各分団の消防ポンプ自動車を購入、更新する
50年12月	重化学車を購入、西署に配置し、油火災に備える 化学車を更新、富士見支署に配置する 釧路市西消防署大楽毛出張所庁舎落成 現有勢力は1本部、2署、2支署、3出張所、12ヶ分団、4特設部となる
51年 1月	釧路日産自動車(株)より小型ポンプ積載車の寄贈を受け、桜田特設部に配置する
51年 4月	元釧路市消防団第3分団長 布施憲一氏(勲6等単光旭日章)生存者叙勲の栄に輝く 元釧路市消防団第8分団長 鵜野 清氏(勲6等瑞宝章)生存者叙勲の栄に輝く
51年 5月	住友生命保険相互会社より救急車の寄贈を受け、中央署に配置する
51年 6月	上野運輸(株)より原液車の寄贈を受け、中央署に配置する 北市水産(株)より大型バスの寄贈を受け、総務課に配置する (株)紅花松田商店より原調車の寄贈を受け、予防課に配置する 電話等の普及により昭和49年から開始した火災報知機の撤去完了する
51年 7月	昭和50年12月17日制定された石油コンビナート等災害防止法により、南、中央、北各埠頭、西港が特別防災区域に指定される 市長の諮問機関として消防技術専門委員を設置する
51年11月	釧路市中央消防署鉄北支署、釧路市消防団第6分団合同庁舎完成 1本部、2署、3支署、3出張所、12ヶ分団、4特設部となる
51年12月	釧路日産自動車(株)より小型ポンプ積載車の寄贈を受け、桂恋特設部に配置する
52年 3月	北海道より原液車の配分を受け、西署に配置する
52年 4月	元釧路市消防団第4分団副分団長 近藤 勝太郎氏(勲7等瑞宝章)生存者叙勲の栄に輝く
52年 6月	釧路市危険物施設等防災対策協議会より予防車(ライトバン)の寄贈を受け、予防課に配置する
52年10月	第1、第3、第10、第11各分団の消防ポンプ自動車を購入し、更新する 中央消防署鉄北支署、新橋支署の水槽付消防ポンプ自動車を購入し更新する ブレークスクワート車を購入し、中央署に配置する

年 月	事 項
昭和 52年11月	元釧路市消防団第2分団分団長 野田 政雄氏（勲6等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く
52年12月	元釧路市消防団第2分団部長 大越 東一氏（勲6等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く 災害応急復旧用無線電話を設置し災害発生時にそなえ情報の途絶防止をはかった 富士見支署を署に昇格させ釧路市東消防署、釧路市消防団第3分団合同庁舎完成 現有勢力は1本部、3署、2支署、3出張所、12ヶ分団、4特設部となる 関係諸規程を整備し機構改革により署「予防係」を「予防広報係」に「予防課危険物係」を「予防課保安係」に改める
53年 3月	釧路日産自動車(株)より査察車の寄贈を受け、中央署に配置する
53年 4月	丸昇自動車興業(株)より連絡車の寄贈を受け、総務課に配置する 釧路市危険物施設等防災対策協議会を釧路市危険物安全協会と改称する（115事業所） 釧路市危険物安全協会が社団法人北海道危険物安全協会連合会に加盟する
53年 6月	番茶会より小型ポンプ積載車の寄贈を受け、北斗特設部に配置する 釧路市西消防署西港派出所開設、石油基地の防災体制の確立を計る 1本部、3署、2支署、3出張所,1派出所、12ヶ分団、4特設部となる 釧路市消防音楽隊第1回演奏発表会を釧路市公民館で行う 自治体消防発足30周年記念式典を消防関係及び市民1,500名参加のもとに盛大に行う 第6代消防長 野原 浩嗣氏 退任 第7代消防長 藤田 誠司氏 就任
53年 7月	釧路日産自動車(株)より査察車の寄贈を受け、西署に配置する 知人町内会の軽可搬ポンプを購入、更新する
53年 9月	初の釧路市消防団、消防戦闘技能練成競技大会を行う 全国消防長会危険物委員会を当市で開催する 第23回消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を釧路市で行う
53年11月	元釧路市消防団第8分団員 成田 竹三郎氏（勲7等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く
54年 3月	釧路市興津第一はまなす子供会少年消防班、優良少年消防班として消防庁長官より表彰を受ける
54年 4月	元釧路市消防職員 宮川 正一郎氏（勲7等青色桐葉章）生存者叙勲の栄に輝く
54年 8月	北海道石油コンビナート等防災総合訓練を釧路市西港区域で開催し、大きな成果をあげた 火災時の電話問い合わせに対処するため火災自動案内装置を導入する

年 月	事 項
昭和 54年 9月	全消会北海道支部道東地区協議会主催の道東地区消防官の主張発表大会をオリエントホテルで開催する 第2回釧路市消防団、消防戦闘技能練成競技大会を行う 第24回消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う（標茶町）
54年10月	釧路市消防音楽隊第2回演奏発表会を釧路市公民館で行う
54年11月	地震発生時の諸動作を体験させ、地震発生時に対処するため道内初の起震車を購入配置した 元消防団第6分団長 小西 勇氏（勲6等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く 全国消防長会北海道支部総会を行う（釧路市） 北海道消防学校校友会主催、全道消防人の主張発表大会を釧路市民文化会館で行う
54年12月	釧路市防火管理者連絡協議会より三折スノーケル車1台の寄贈を受け、中央署に配置する
55年 2月	中央消防署新橋支署に消防ポンプ自動車を購入、更新配置する 西消防署に救急車を購入、更新配置する
55年 4月	(株)森本商会より救急車の寄贈を受け東消防署武佐出張所に更新配置する 元釧路市消防団第5分団副分団長 木元 浅吉氏（勲7等瑞宝章）生存者叙勲の栄に輝く (株)三ツ輪商会より救助技術訓練塔の寄贈を受け、消防本部訓練場に設置完成される
55年 5月	釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、総務課に配置する 消防外郭4団体より中型バスの寄贈（中古車）を受ける
55年 7月	全消会北海道支部道東地区協議会主催の道東地区消防官の主張発表大会を釧路信用金庫ホールで開催する
55年 9月	第25回消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う（白糠町） 第3回釧路市消防団、消防戦闘技能練成競技大会を行う
55年10月	中央消防署愛国支署配置分として水槽付消防ポンプ自動車を購入する
55年11月	消防百年記念、消防団全国大会参加副団長他7名 釧路市地区防災センター婦人防火隊より防火広報車の寄贈を受け、予防課に配置する
55年12月	第3代消防団長 浅川 正敏氏 退任、 第4代消防団長 小船井 武次郎氏 就任 司令車及び警防車（石油貯蔵施設立地対策交付金事業）を購入、総務課及び警防課に配置する 釧路市中央消防署愛国支署庁舎完成、公用開始され、これにより1本部、3署、3支署、3出張所、1派出所、12ヶ分団、4特設部となった

年 月	事 項
昭和 55年12月	第1次消防行政改革に伴い分団派遣員を従来の2名体制から1名の日勤体制に切り替えた
56年 1月	釧路橋南地区水産加工工業協同組合より、消防ポンプ自動車の寄贈を受け中央消防署に更新配置する
56年 2月	石油貯蔵施設立地対策交付金により水槽付消防ポンプ自動車を購入し、東消防署に更新配置する
56年 3月	第3回釧路市消防音楽隊演奏発表会を釧路市公民館で行う 丸栄商事株式会社、(株)丸栄中田より救急車の寄贈を受け中央消防署に更新配置する 消防救急指令装置を導入し、開通式を行う
56年 4月	三ツ輪採石工業(株)から救助技術訓練塔の寄贈を受け、西消防署に配置する 釧路市消防団の執行体制を確立するため、副団長を3名制とし、担当事務の明確化をはかった 釧路市災害救助活動協力会設立
56年 8月	第6回全消会北海道支部道東地区協議会主催消防官の主張発表会を北海道新聞釧路支社ホールで開催する
56年 9月	第26回消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(弟子屈町)
56年10月	社団法人日本損害保険協会より16m級屈折はしご車の寄贈を受け東消防署に配置する 第4回釧路市消防音楽隊演奏発表会を釧路市民文化会館で行う 中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入更新配置する 日本消防協会より小型軽可搬ポンプ一式の寄贈を受け、新富士婦人消防隊に配置する
57年 3月	第7代消防長 藤田 誠司氏 退任
57年 4月	第8代消防長 安宅 隆富氏 就任
57年 5月	元消防団第9分団副分団長 原田 清氏(勲6等瑞宝章)生存者叙勲の栄に輝く
57年 9月	第27回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(阿寒町) 日本消防協会より小型軽可搬ポンプ一式の寄贈を受け、愛国東部町内会婦人消防班、興津第1婦人救護班に配置する
57年10月	全消会北海道支部、危険物委員会を当市で開催する
57年11月	消防団第7分団に消防ポンプ自動車を購入、更新配置する
57年12月	東消防署桜ヶ岡出張所、消防団第11分団合同庁舎を改築する
58年 1月	第7回全消会北海道支部道東地区協議会主催の道東地区消防官の主張発表大会を釧路市立図書館ホールで開催される 釧路市西消防署西港派出所を閉所

年 月	事 項
昭和 58年 1月	1本部、3署、3支署、3出張所、12ヶ分団、4特設部となった
58年 4月	釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、消防本部に更新配置する 元消防団第8分団部長 藤田 勝氏(勲6等瑞宝章)生存者叙勲の栄に輝く
58年 6月	釧路水産協会加盟5団体より救難ゴムボートの寄贈を受け、中央消防署に配置する 釧路橋南地区水産加工工業協同組合より救急車の寄贈を受け、中央消防署愛国支署に配置する
58年 7月	協同組合釧路専門店会より小型梯子車の寄贈を受け、中央消防署に配置する 釧路市消防音楽隊後援会発足10周年を祝し、釧路パシフィックホテルに於て記念式典を挙行了した
58年 8月	中央消防署愛国救急隊、運用開始され、これにより4隊となった 北電工業(株)より、乗用車の寄贈を受け中央消防署に配置する 釧路市危険物安全協会より乗用車3台の寄贈を受け、中央、西、東各消防署に配置する 日本消防協会より小型軽可搬ポンプ一式の寄贈を受け、第5地区婦人防火クラブ、大楽毛婦人消防班に配置する
58年 9月	第28回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(音別町)
58年10月	東消防署桜ヶ岡出張所に大型10t水槽車を購入配置する 第5回釧路市消防音楽隊演奏発表会を釧路市民文化会館で行う (釧路市消防音楽隊発足30周年記念及び釧路市消防音楽隊後援会10周年記念演奏)
58年11月	自治体消防35周年記念、全国大会参加、消防団長他4名
58年12月	釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、東消防署に更新配置する
59年 2月	第8回全消会北海道支部道東地区協議会主催の道東地区消防職員意見発表会を釧路市図書館ホールで行う
59年 3月	消防団第4分団に消防ポンプ自動車を購入、更新配置する
59年 4月	釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、西消防署に更新配置する 釧路三菱ふそう自動車販売(株)より小型トラックの寄贈を受け、消防本部に更新配置する
59年 5月	(株)マルセンクリーニングより日本語ワードプロセッサの寄贈を受け、消防本部に配置する
59年 6月	濱水産工業(株)より救急車の寄贈を受け、西消防署に配置する
59年 9月	第29回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(釧路市) 西消防署大楽毛出張所に大型10t水槽車を購入配置する 消防本部に乗用車を購入、更新配置する
59年10月	第6回釧路市消防音楽隊演奏発表会を釧路市民文化会館で行う

年 月	事 項
昭和 59年10月	日本消防協会より小型軽可搬ポンプ一式の寄贈を受け、新富士第23班婦人消防班に配置する 全国消防長会危険物委員会を行う（釧路市） 元釧路市消防職員 工藤 栄氏（勲5等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
59年11月	元釧路市消防職員 宇佐美 新悦氏（勲6等単光旭日章）生存者叙勲の栄に輝く 全国消防長会危険物委員会を行う（釧路市） 釧路市家庭防災推進員連絡協議会を結成する
59年12月	釧路三菱ふそう自動車販売(株)より小型トラックの寄贈を受け、消防本部に配置する
60年 1月	消防団第2分団に消防ポンプ自動車を購入、更新配置する
60年 2月	第9回道東地区消防職員意見発表会を釧路市立図書館ホールで行う
60年 3月	第8代消防長 安宅 隆富氏 退任
60年 4月	第9代消防長 土田 久平氏 就任
60年 5月	職団員による消防近代化検討委員会を設置し、諮問する（委員19名）
60年 6月	釧路市連合防災推進協議会結成する
60年 8月	自主防災市民の集い（第7回釧路市消防音楽隊演奏会）を釧路市民文化会館で行う
60年 9月	第30回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う（厚岸町） 釧路市防火管理者連絡協議会創立20周年を祝し、オリエンタルホテルに於て記念式典を挙行した 釧路市防火管理者連絡協議会よりパ - ソナルコンピューター1台等の寄贈を受け、消防本部に設置する 日本消防協会より小型軽可搬ポンプ一式の寄贈を受け、大楽毛地区消防班・城山協和会婦人消防班に配置する
60年10月	消防団第12分団に消防ポンプ自動車を購入、更新配置する
60年11月	東消防署桜ヶ岡出張所に水槽付消防ポンプ自動車を購入、更新配置する
60年12月	「消防近代化に関する推進策」答申
61年 1月	第10回道東地区消防職員意見発表会を釧路市立図書館ホールで行う 東消防署武佐出張所に救急車を購入し更新配置する
61年 2月	中央消防署愛国支署に大型10 t 水槽車を購入配置する
61年 4月	元消防団第11分団部長 奥山 勘之助氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
61年 5月	職団員による「釧路市消防団活性化検討委員会」を設置し諮問する 釧路日産自動車(株)より小型ポンプ積載車2台寄贈を受け、桜田特設部、桂恋特設部に更新配置する
61年 7月	「釧路市消防団活性化に関する推進策」答申

年 月	事 項
昭和 61年 8月	北海道石油コンビナート等防災総合訓練を釧路西港区域で開催(出動台数25台、参加人員137名)
61年 9月	第31回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(釧路市) 財団法人自治総合センターより、自主防災組織育成事業として防火衣40着、防火ヘルメット40ヶ、救急訓練用人形4体を受け、釧路市連合防災推進協議会に配置する 日本消防協会より小型軽可搬ポンプ2台の寄贈を受け、新富士第4班婦人消防班、大楽毛南5さつき婦人消防班に配置する
61年10月	西消防署大楽毛出張所に釧路市消防本部が独自で開発した全国初の7t水槽付消防自動車を購入し配置する 自主防災組織研修会をオリエンタルホテルにおいて行う
61年11月	元消防団第1分団長 大杉秀太郎氏(勲6等瑞宝章)叙勲の栄に輝く 釧路市愛国191に北海道で初めての釧路市空中消火等補給基地完成(ヘリコプター離着陸広場13,869㎡、防火水槽40t級、資器材保管等施設、耐火構造平屋204.12㎡、空中消火剤散布装置5基)
62年 1月	第11回道東地区消防職員意見発表会を釧路市立図書館ホールで行う 消防団第9分団に消防ポンプ自動車を購入更新配置する
62年 3月	第9代消防長 土田 久平氏 退任
62年 4月	第10代消防長 横山 肇氏 就任
62年 5月	釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、本部司令2号車を更新配置する
62年 9月	団活性化事業推進のためのライトバン2台を購入し、中央消防署、東消防署に配置する
62年 9月	第32回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(鶴居)
62年10月	東消防署武佐出張所に7t水槽付消防ポンプ自動車を購入し更新配置する
63年 1月	第12回道東地区消防職員意見発表会を釧路キャッスルホテルで行う 永楽交通(株)より救急車の寄贈を受け、中央消防署に配置する
63年 2月	消防団第6分団に消防ポンプ自動車を購入し、更新配置する
63年 3月	消防殉職者の追悼式を釧路市公民館で執り行う
63年 4月	各出張所を支署に昇格 現有勢力は、1本部、3署、6支署、12ヶ分団、4特設部となる
63年 7月	釧路市連合防災推進協議会会長荒澤喜代三郎氏が消防安全功労者として、消防庁長官より表彰を受ける
63年 8月	北海道防災総合訓練を釧路市において実施
63年 9月	第33回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(川湯)
63年 9月	釧路日産自動車(株)より小型ポンプ積載車1台寄贈を受け、山花特設部に更新配置する

年 月	事 項
昭和 63年11月	元消防団第6分団分団長 高玉 一雄氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く 消防団活性化事業推進のため、ライトバン1台を購入し、西消防署に配置する 消防100年記念事業実行委員会設立総会
63年12月	中央消防署新橋支署に7t水槽付消防ポンプ自動車を購入し更新配置する
平成 元年 1月	第13回道東地区消防職員意見発表会を釧路オリエンタルホテルで行う
元年 4月	元釧路市消防職員 畔田 茂夫氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
元年 7月	釧路市消防100年記念式典を釧路市民文化会館で行う
元年 8月	釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、本部司令2号車を更新配置する
元年 9月	第34回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う（浜中町） 北海道三菱ふそう自動車販売(株)より小型ポンプ積載車1台寄贈を受け、北斗特設部に更新配置する
元年10月	中央消防署に30m級梯子自動車を購入し更新配置する
2年 1月	第14回道東地区消防職員意見発表会を釧路オリエンタルホテルで行う
2年 2月	消防団第1分団に消防ポンプ自動車（CD）を購入し更新配置する
2年 4月	元釧路市消防職員 松田 秀夫氏（勲4等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
2年 9月	財団法人日本消防協会より「指揮広報車」の寄贈を受ける 釧路青年会議所指導力開発委員の消防体験研修会を実施する 第35回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う（標茶町）
2年10月	西消防署に救急車を購入し更新配置する 全国消防長会北海道ブロック消防長研修会を釧路東映ホテルで行う 防災講演会を釧路オリエンタルホテルで行う
3年 1月	第15回道東地区消防職員意見発表会を釧路オリエンタルホテルで行う 中央消防署鉄北支署に7t水槽付消防ポンプ自動車を購入し更新配置する
3年 2月	中央消防署に救助工作車を購入し配置する 消防団第10分団に消防ポンプ自動車（CD-）を購入し更新配置する
3年 3月	第10代消防長 横山 肇氏 退任
3年 4月	第11代消防長 本川 實氏 就任 釧路方面遊技業組合連合会・釧路遊技業組合より火災原因調査用車両の寄贈を受け、予防課に更新配置する 元釧路市消防職員 阿久津 忠憲氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
3年 5月	消防体制研究委員会を設置し、諮問する（委員64名）
3年 9月	第36回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う（白糠町） 釧路市高齢者等緊急通報システム運用開始

年 月	事 項
平成 3年10月	社団法人日本損害保険協会より化学ポンプ自動車の寄贈を受け、東消防署に更新配置する
3年12月	東消防署武佐支署に救急車（2 B型）を購入し更新配置する
4年 1月	第16回道東地区消防職員意見発表会をホテルレイTON釧路で行う
4年 2月	消防団第3分団に消防ポンプ自動車（C D ）を購入し更新配置する
4年 8月	カナダバーナビー市と消防国際技術交流を行う
4年 9月	第37回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（釧路市） 釧鉄工業(株)より広報車の寄贈を受け、大楽毛支署に配置する
4年10月	大栄産業(株)・釧路日産自動車(株)より乗用車の寄贈を受け、本部司令2号車を更新配置する
4年11月	元消防団第3分団長 佐藤 栄一氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
4年12月	第4代消防団長 小船井 武次郎氏 退任 第5代消防団長 本間 仁郎氏 就任
5年 2月	第17回道東地区消防職員意見発表会をホテルレイTON釧路で行う 西消防署に7t水槽付消防自動車を購入し増強配置する
5年 3月	第11代消防長 本川 實氏 退任
5年 4月	第12代消防長 中井 千年氏 就任 元消防団長 小船井 武次郎氏（勲4等瑞宝章）叙勲の栄に輝く 元消防団第11分団分団長 石坂 勇雄氏（勲6等単光旭日章）叙勲の栄に輝く
5年 8月	釧路市危険物安全協会創立30周年記念式典を釧路パシフィックホテルで行う 財団法人日本消防協会より救急自動車の寄贈を受ける
5年 9月	第38回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（釧路町） 全国消防協会北海道地区支部消防実務講習会を釧路プリンスホテルで行う
5年10月	財団法人日本消防協会地震等防災対策委員会を釧路プリンスホテルで行う
5年11月	自治体消防45周年記念大会の参加（団長他12名） 元消防団第6分団副分団長 坂井 惣之助氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
5年12月	中央消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
6年 1月	高規格救急自動車運用開始
6年 4月	組織・機構改革、交替制勤務部門の2係制から3課体制へ移行 全国消防長会北海道支部定期総会を釧路市で開催
6年 6月	釧路商工信用組合から、消防指揮車の寄贈を受け、中央消防署に配置
6年 7月	新橋支署に水難救助車を配置し、潜水資格者8名をもって、潜水業務を開始
6年 8月	北海道石油コンビナート防災総合訓練を釧路市で開催

年 月	事 項
平成 6年 9月	第39回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（弟子屈町）
6年10月	新消防庁舎・市民防災センター着工
6年11月	元消防団第5分団分団長 高橋正好氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
6年12月	第5代消防団長 本間 仁郎氏 退任 第6代消防団長 三宮 久蔵氏 就任
7年 3月	消防団第8分団に消防ポンプ自動車（C D ）を購入し更新配置する 第12代消防長 中井 千年氏 退任 第13代消防長 山崎 強氏 就任
7年 4月	元釧路市消防職員 佐藤 作次氏（勲5等瑞宝章）叙勲の栄に輝く 元消防団第4分団長 佐竹 善一氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く 釧路市防火管理者連絡協議会創立30周年記念式典を釧路パシフィックホテルで行う
7年 6月	平成7年度釧路川水防公開演習を釧路市（鶴見橋上流右岸）で実施
7年 7月	トヨタビスタ釧路(株)から「消防広報車」の寄贈を受け、中央消防署に配置する
7年 9月	第40回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（阿寒町）
7年10月	東洋不動産(株)から「消防ポンプ自動車」の寄贈を受け、釧路市消防団第5分団に配置する
7年11月	元消防団第9分団副分団長 菊池 一好氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
8年 2月	中央消防署に25m級の屈折梯子車を配置する
8年 3月	西消防署大楽毛支署に 型化学消防車を配置する
8年 5月	元消防団第8分団分団長 田宮 梅二氏（勲6等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
8年 6月	釧路ぬさまいライオンズクラブから「消防広報車」の寄贈を受け、予防課に配置する
8年 9月	第41回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（釧路市）
8年12月	第13代消防長 山崎 強氏 退任 第14代消防長 大滝 芳秋氏 就任
9年 3月	中央消防署に2.5 t 水槽付消防車を購入し特別救助隊車として配置する (株)三ツ輪運輸よりワープロ5台、(株)三ツ輪商会よりパソコンー式・ワープロ2台の寄贈を受け、全所属に更新配置する
9年 4月	機構・制度改革により、地区防災センター担当員を職員から嘱託職員に切り替える
9年 6月	新消防庁舎（消防本部・中央消防署・消防団本部）・市民防災センター竣工、消防庁舎供用開始する 新庁舎供用開始に伴い消防緊急通信指令システム運用開始

年 月	事 項
平成 9年 6月	元釧路市消防長 松田秀夫氏より救助訓練用資器材一式の寄贈を受け、中央消防署に配置する
	元釧路市消防職員 佐藤 作次氏より、新庁舎用国旗掲揚ポール一式の寄贈を受ける
9年 6月	荒澤ハルノ氏よりビデオライブラリー用防災ビデオテープ一式の寄贈を受け、市民防災センターに配置する
9年 7月	新消防庁舎並びに市民防災センター落成記念式典を新庁舎屋内訓練場において挙行する
	釧路市民防災センター供用開始する
9年 9月	第42回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（厚岸町）
9年10月	元消防団第9分団分団長 川嶋 一男氏（勲6等単光旭日章）叙勲の栄に輝く 全国消防長会北海道支部署長等研修会を新消防庁舎で行う
10年 3月	組織機構改革により中央消防署釧北支署を廃止する
	第14代消防長 大滝 芳秋氏 退任
10年 4月	第15代消防長 橋爪 義憲氏 就任
10年 9月	全道消防職員消防実務講習会を釧路プリンスホテルで行う
	第43回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（弟子屈町川湯）
	(株)押切カーサービスから「消防指揮車」の寄贈を受け、中央消防署に配置する
	北海シェル石油(株)から一体型液晶ビデオ映写機一式の寄贈を受け、予防課に配置する
11年 2月	中央消防署新橋支署に災害支援車を配置する
11年 4月	元消防長 藤田 誠司氏（勲4等瑞宝章）叙勲の栄に輝く 元副団長 佐藤 三郎氏（勲6等単光旭日章）叙勲の栄に輝く
11年 5月	全国消防長会救急委員会を釧路プリンスホテルで行う
	石川文庫からワープロ1台の寄贈を受け、総務課に配置する
11年 6月	21世紀を見据えた釧路市消防のあるべき方向を策定するため、釧路市消防本部基本計画策定委員会を設置
11年 8月	佐藤 三郎氏から消防団員用行動帽の寄贈を受け、給与する
11年 9月	第44回釧路管内消防団員技能競技大会を行う（音別町）
11年11月	(株)押切カーサービスから「予防車」の寄贈を受け、西消防署に配置する
11年12月	釧路市消防団第4分団庁舎（コミュニティ消防センター）移転新築落成
12年 2月	東消防署に救助隊車を購入し、更新配置する
12年 3月	第15代消防長 橋爪 義憲氏 退任
12年 4月	第16代消防長 宮下 春夫氏 就任

年 月	事 項
平成 12年 6月	日立クレジット(株)から空気呼吸器用軽量ボンベ50本の寄贈を受ける 釧路勝栄運輸(株)から資機材保管用コンテナの寄贈を受ける
12年 7月	全国消防長会北海道支部警防救急事務研究会を釧路プリンスホテルで行う
12年 9月	第45回釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(浜中町)
12年10月	吉岡製函(株)から液晶プロジェクター及びビデオデッキ式の寄贈を受け、予防課に配置する
13年 2月	釧路日産自動車(株)から「消防指令車」の寄贈を受け、総務課に配置する
13年 4月	元副団長 館山 操氏(勲6等単光旭日章)叙勲の栄に輝く 日立キャピタル(株)から空気呼吸器用軽量ボンベ41本の寄贈を受ける 北斗特設部、山花特設部、桜田特設部を統合、第13分団に昇格する 釧路ぬさまいライオンズクラブから心肺蘇生用訓練人形6体の寄贈を受ける
13年 5月	三ッ輪運輸(株)から「高規格救急車」の寄贈を受け、東消防署武佐支署に配置する
13年 6月	村井建設(株)・太平洋建設工業(株)の両社から国旗掲揚ポールの寄贈を受ける (株)陸冷・北海貨物(株)の両社から資機材保管コンテナの寄贈を受ける
13年 8月	昭和シェル石油(株)からノートパソコンの寄贈を受ける 全国消防長会北海道支部警防委員会を釧路プリンスホテルで行う
13年 9月	第46回釧路地方支部消防団員技能競技大会を行う(鶴居村)
13年11月	全国消防長会北海道支部消防長研修会を釧路プリンスホテルで行う
13年12月	I S O内部監査・I S O初動審査
14年 2月	一心会50周年記念式典
14年 3月	第16代消防長 宮下 春夫氏 退任
14年 4月	第17代消防長 柳澤 慶三氏 就任 釧路市消防本部基本計画に基づく組織機構の見直し ・釧路市消防署1署体制の確立に伴い中央・西・東方面本部制へ移行 ・救急救命本部の設立(救急隊の専任化) ・査察指導課の新設 ・新橋支署潜水隊の配置換えに伴い、中央方面本部救助係を救助水難担当に改める
14年 5月	元分団長 松田 廣司氏(勲六等瑞宝章)叙勲の栄に輝く
14年 6月	平成14年度危険物保安功労者消防庁長官表彰 王子製紙受賞 第54回北海道消防大会開催 消防音楽隊50周年記念式典、同後援会30周年記念
14年 7月	音楽隊後援会よりスモークマシン2台寄贈を受ける
14年 8月	市政80周年記念式典

年 月	事 項
平成 14年 9月	ドクターヘリ・デモフライト 第47回釧路地方支部消防団員技能競技大会（標茶町） B C 想定訓練
14年10月	第1回家庭防災推進員研修会を開催
15年 2月	中央方面本部に小型梯子車を購入し、更新配置する 宮地昌治氏より高規格救急車の寄贈を受け、救急救命本部愛国救急隊に配置する
15年 3月	東方面本部桜ヶ岡支署に水槽付ポンプ自動車を購入し、更新配置する 第17代消防長 柳澤 慶三氏 退任
15年 4月	第18代消防長 小島 忠利氏 就任 元消防長 土田久平氏（勲四等瑞宝章）叙勲の栄に輝く 元消防団第8分団長 中谷千代明氏（勲六等瑞宝章）叙勲の栄に輝く
15年 9月	第48回釧路地方支部消防団員技能競技大会（釧路町）
15年10月	防災ワンデー（釧路沖地震記念事業） 釧路市危険物安全協会よりパソコン5台等の寄贈を受ける （創立40周年記念事業）
15年11月	（株）陸冷・（有）北海エクスプレスの両社から資機材保管コンテナの寄贈を受ける 元釧路市消防職員 三木 武氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加（新潟市） 自治体消防55周年記念式典（東京都） 全国消防広報コンクール消防庁長官表彰受賞（広報ポスター）
16年 2月	高規格救急車を購入し救急救命本部中央救急隊に更新配置する
16年 3月	第18代消防長 小島 忠利氏 退任
16年 4月	第19代消防長 新野 導房氏 就任 元消防団副団長 細口 重夫氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防団第4分団長 福井 昭二氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
16年 6月	全国消防長会北海道支部総務事務研究会を釧路プリンスホテルで行う
16年 8月	北海道石油コンビナート防災総合訓練実施（兼 釧路市防災総合訓練）
16年 9月	防災ワンデー2004開催（釧路沖地震記念事業） （社）北海道危険物安全協会連合会道東地区ブロック会議開催 第49回釧路地方支部消防団員技能競技大会（白糠町）
16年10月	釧路市家庭防災推進員連絡協議会設立20周年記念式典開催
17年 3月	中央方面本部にスノーケル車を購入し、更新配置する

年 月	事 項
平成 17年 4月	元消防職員 北野 尚邦氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防団副団長 渡邊 忠義氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
17年 5月	釧路市連合防災推進協議会設立20周年記念祝賀会
17年 9月	第50回釧路地方支部消防団員技能競技大会（弟子屈町） 防災ワンデー2005開催（釧路市・阿寒町・音別町3市町合併記念）
17年10月	釧路市・阿寒町・音別町の合併及び白糠町の消防事務を受託したことに伴い消防本部の組織を見直し、定員352名の新体制となる ・1署3方面本部1救急救命本部体制を3消防署体制とした ・合併した阿寒町・音別町及び消防事務を受託した白糠町はそれぞれ西消防署の支署となる ・救急救命本部は本部の救急課とし、各救急隊は各消防署（支署）へ組み入れた ・警防課通信火災調査担当は、警防課から分離し通信指令課となる ・消防団は、釧路市消防団に阿寒消防団、音別消防団が加わり連合体制となる 連合消防団長（釧路市消防団長） 三宮 久蔵氏 就任 " 副団長（阿寒消防団長） 大平 武夫氏 就任 連合消防団副団長（音別消防団長） 平間 正光氏 就任
17年11月	釧路市防火管理者連絡協議会創立40周年記念式典祝賀会 西消防署阿寒支署に高規格救急車及び指令車を購入し、更新配置する
18年 2月	東消防署武佐支署に水槽付ポンプ自動車を購入し、更新配置する
18年 3月	第19代消防長 新野 導房氏 退任
18年 4月	第20代消防長 開沼 静雄氏 就任 元消防職員 根田 茂夫氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
18年 6月	西消防署音別支署建設工事着工（平成19年7月完成予定）
18年 7月	消防緊急指令施設切替工事着工（平成19年4月運用開始予定）
18年 9月	防災ワンデー2006開催 全国消防協会北海道地区支部実務講習会（予防・広報講習）を釧路プリンスホテルで行う 第51回釧路地方支部消防団員技能競技大会（釧路市） 東消防署桜ヶ岡支署に予防広報車を購入し、更新配置する
18年11月	西消防署大楽毛支署に水槽付ポンプ自動車を購入し、更新配置する 元消防職員 岡崎 忠氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 加藤 政行氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 幸内 未吉氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く

年 月	事 項
平成 18年11月	釧路市消防団長 三宮 久蔵氏消防功労者総務大臣表彰の栄に輝く
19年 4月	消防緊急指令施設運用開始 元消防職員 嶋守 登氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 池田 勲氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 上地 一男氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
19年 7月	西消防署音別支署供用開始
19年 9月	防災ワンデー2007開催 第52回釧路地方支部消防団員技能競技大会（厚岸町）
19年10月	元消防職員 池田 俊司氏（従七位・瑞宝単光章）叙位・叙勲の栄に輝く
19年11月	元消防職員 千葉 昭治氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 吉永 弘志氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 村上 清吉氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 徳泉 昌生氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
20年 2月	中央消防署愛国支署に水槽付ポンプ車を購入し、更新配置する
20年 3月	自治体消防60周年記念式典（東京都） 元消防職員 伊藤 一氏（従六位・瑞宝双光章）叙位・叙勲の栄に輝く 第20代消防長 開沼 静雄氏 退任
20年 4月	第21代消防長 楡金 達朗氏 就任 釧路市消防団、阿寒消防団、音別消防団が統合し釧路市消防団となる 元消防職員 鏡 潔氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 鳴海 利一氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 郡司掛 則之氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
20年 6月	元消防職員 横山 肇氏（正五位・瑞宝小綬章）叙位・叙勲の栄に輝く
20年 7月	北海道洞爺湖サミット消防特別警戒 指揮隊派遣（伊達市 8名） " 救助隊派遣（苫小牧市 10名） " 予防警戒員派遣（千歳市 2名）
20年 9月	防災ワンデー2008開催 第53回釧路地方支部消防団員技能競技大会（弟子屈町）
20年10月	全国消防長会北海道支部署長研修会を釧路プリンスホテルで行う
20年11月	元消防職員 羽田 正道氏（瑞宝双光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 斎藤 憲明氏（瑞宝双光章）叙勲の栄に輝く 元消防団分団長 平山 義一氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く

年 月	事 項
平成 20年12月	西消防署に高規格救急車を購入し、更新配置する
21年 3月	第21代消防長 楡金 達朗氏 退任
21年 4月	第22代消防長 滝澤 幸司氏 就任
21年 4月	消防団第1分団、第2分団が統合し港陽東分団となる 元消防職員 澤本 康則氏（瑞宝双光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 新谷 和彦氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 藤井 節夫氏（瑞宝双光章）叙勲の栄に輝く 元消防団分団長 野口 喜司氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
21年 5月	第20回北海道救急医学会救急隊員部会総会・研修会を釧路市観光国際交流センターで行う
21年 7月	全国消防長会北海道支部予防危険物事務研究会を釧路プリンスホテルで行う 元消防職員 田村 剛氏（正七位・瑞宝双光章）叙位・叙勲の栄に輝く 元消防職員 岩下 慶吾氏（従六位・瑞宝双光章）叙位・叙勲の栄に輝く
21年 9月	防災ワンデー2009開催 第54回釧路地方支部消防団員技能競技大会（釧路市）
21年10月	消防団長 三宮 久蔵氏釧路市民貢献賞（社会部門）の栄に輝く 緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加（山形県鶴岡市）
21年11月	西消防署白糠支署に高規格救急車を購入し、更新配置する 元消防職員 佐々木 弘氏（瑞宝双光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 武田 泰信氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 真籠 照幸氏（正七位・瑞宝単光章）叙位・叙勲の栄に輝く
22年 2月	消防団第7分団に消防ポンプ自動車（CD）を購入し更新配置する
22年 3月	第22代消防長 滝澤 幸司氏 退任
22年 4月	第23代消防長 海老名 正一氏 就任 消防団第5分団、第7分団が統合し、五七分団となる 中央消防署、西消防署、東消防署の3署体制から、中央消防署と東消防署を統合し名称を中央消防署として、中央消防署と西消防署の2署体制となる 消防署組織の見直しに伴い、東消防署の名称を中央消防署東分署とする 阿寒支署及び音別支署の配置人員を増員し警備体制の強化を図る 元消防職員 上坂 健世氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 野村 勝雄氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く
22年 6月	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（愛知県知多市）
22年 9月	防災ワンデー2010開催

年 月	事 項
平成 22年 9月 22年11月	第55回釧路地方支部消防団員技能競技大会（釧路市） 元消防職員 池亀 徳和氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防職員 長谷川 眞也氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 元消防団分団長 宮高 重敏氏（瑞宝単光章）叙勲の栄に輝く 緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加（福島県郡山市）
23年 1月	防災ワンデー釧路防災講演会2011開催

平成 23 年版 消防年報

平成 23 年 3 月 発行

発行先 釧路市消防本部総務課
釧路市南浜町 4 番 8 号
電話 0154-22-2156

E - mail: fd-soumu@city.kushiro.hokkaido.jp